

平成26年度 番号不明被災自動車発生台数および総台数見込の修正

1. 番号不明被災自動車について、被災地自治体への調査および申請実績に基づき平成25年度第4Qの見込台数を300台としたうえで、平成26年度の予算作成上の台数を500台としたい。

【今後の見込】

	平成25年度 第4Q	平成26年度
岩手県大槌町	92台(実績)	—
宮城県女川町	150台(実績)	200台(推定)
福島県南相馬市	50台(推定)	—
小計	292台	200台
上振れリスク分	—	300台
総計	① 約300台	② 約500台

《補足説明》

被災地自治体への調査から、平成26年度の番号不明被災自動車の台数は現状では200台程度と推定されるものの、

- 1) 本財団に対して申請終了と報告された被災地自治体から、その後も番号不明被災自動車の申請がなされていること(例.福島県A町)
- 2) 被災地自治体から事前に聞いていた番号不明被災自動車の残数見込を大幅に上回る台数の申請がなされていること(例.岩手県B町)
- 3) 被災自治体から、これまで瓦礫の撤去作業が実施されていなかった場所や港から番号不明被災自動車が発見される可能性について報告されていること(例.福島県A町, 岩手県B町)

という状況を踏まえ、番号不明被災自動車台数が上振れする要因があること、および予算を策定するうえで保守的に観ておく方が安全であることから、平成26年度予算作成上の台数を500台とする。

2. 平成25年12月末時点の申請実績12,200台に上記1.の①②を加え、番号不明被災自動車の総台数見込をこれまでの14,000台から13,000台へ下方修正する。

● 平成25年12月末時点(実績)	・・a	約12,200台
● 平成26年1月～3月(見込)	・・b	約300台 ①
● 平成26年4月～平成27年3月(見込)	・・c	約500台 ②
● 番号不明被災自動車総台数見込	・・a+b+c	約13,000台

以上